（調査様式１）

１．　自己評価及び外部評価結果

作成日　平成　　26年

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670200700
法　人　名	社会福祉法人　ひまわり会
事 業 所 名	グループホームわかまつ園
所　在　地	薩摩川内市高江町1653-1 （電 話）0996-23-1201
自己評価作成日	平成26年9月1日

※事業所の基本情報は，WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「その人らしく」を基本理念として，一人ひとりの自尊心を尊重し，地域の一員として，安心して生活して頂けるように,家族や地域と共同した支援に取り組んでいる。

地域に開かれた施設として，地域の行事に積極的に参加し，又，園の行事に地域の方々の参加，協力がある。

【外部評価で確認した事業所の優れている点，工夫点（評価機関記入）】

社会福祉法人を母体に持つグループホーム「わかまつ園」は周りに田園風景が広がり四季を肌で感じることのできる位置に建っている。
事業所は地域の行事やイベントに積極的に係わり、利用者も地域の一員として「その人らしく」暮らし続けられるように支援している。
管理者は経験豊富で地域の指導にあたることで信頼を得、協力者も多く、ホームを支えている。
近くに原子力発電所が位置することから、災害対策にも積極的であり独自の訓練や対策を講じ利用者の安心と安全の確保に努めている。
職員も明るく利用者と共に歩む姿がうかがわれ、理念に添った支援であり、医療機関との連携も密である。関連施設を多くもつ事業所であるため、利用者を他の施設職員サイドからも見守ってもらえるホームと言える。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	その人らしくを第1の理念とし，「地域との関わりの中でその人らしい人生の継続支援を行なう」という理念を掲げ，年間計画を作り，実践している。	法人全体の理念と事業所独自の理念を掲げ、そのなかで「その人らしく」過ごせる支援を目指し日々、ケアに努めている。年間の事業計画も作成し管理者と職員は振り返りながら実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り，自治会の行事や地域の催物に積極的に参加し，地域の協力を得て交流を行っている。	事業所は自治会に加入し地域との係わりが深く、環境整備やリサイクル活動など、積極的に参加したりまた地域住民からの差し入れも多い。運動会では席が用意されたり、事業所が外食で利用する飲食店ではスロープも作られトイレも改善される予定である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	市が行なうコミュニティごとの認知症予防講演会や，認知症キャラバンメイト活動を行い，地域の人々に認知症の理解や支援方法を話ししている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに運営会議を開き，入居者の状況等，その他の報告を行ない，地域の情報など聞き，又，自治会放送機器を設置し，意見やサービス向上に活かしている。	行政や地域住民、家族を交えた運営推進会議は利用者の状況報告や、事業の取組み、ヒヤリハットの事例も報告され、話し合いが行われている。地域からの情報も収集し、家族、職員にも伝え共有を図り、また防災無線も設置するなど、それらを具体的にサービスに活かしている。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り，事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら，協力関係を築くように取り組んでいる	市主催の事業所連絡会参加や運営推進員の市の担当者を通じて，要望や改善・向上などの協力関係を築いている。	市町村担当者は運営推進会議に参加、また事業所は市主催のサービス提供事業者連絡会で考え方や要望を伝え、地域福祉課の担当者に金銭の管理をみてもらっている利用者もいる。情報の共有に努め協力関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており，玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会を行い，目に付く壁に身体拘束排除宣言を書いた張り紙をし，身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の鍵はしていない。	年間事業計画のなかに身体拘束の勉強会を組み込み、言葉の拘束にはその都度注意し、申し送り時に全員で振り返っている。各居室のベランダも自由に行き来でき、外出傾向の利用者には付き添い、玄関も施錠せず自由な生活の支援である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待についての勉強会を行ない，日々の生活の中での言動による虐待はないか，職員各々が注意し合い，防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての勉強会を行ない学んでいる。入居者の中に地域福祉権利事業を利用される方があり，担当の職員との話し合いを行なっている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に事業所のケアに関する考え方や取り組みや，契約解除に至る場合の説明を行ない，承諾を得ており，退去となった場合，再度説明をし，理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には，面会時，毎月の個別通信，園だより，写真などで状況報告し，玄関に設置してあるアンケート用紙や，年末に行なう交流会等で要望や意見を聞くようにしている。	毎月の個別通信のなかに行事の写真を添えて利用者の状況報告をし、家族からは面会時や家族交流会で、意見や要望を聞く機会を設けている。玄関横にアンケート箱を設置しているが、今後は内容を細かくした設問に変えていく方針である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	事業所全体の運営会議の内容や，4月から導入された各事業所の予算による運営状況等をミーティング等で開示し，意見や提案を求めている。	職員は業務に関する要望や意見を記す独自のノートを作り詳細に記載され、法人の全体会議で検討され運営に反映させている。また新運営体制も導入され職員の意識向上に繋がりアイデアや提案が多く出る様になった。個人面談も設け職員の資格取得にも力を入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の人事考課を行ない，個々の努力や実績，勤務状態を把握し，給料にもつなげている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	園内外の研修に積極的に参加できる機会を催けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県，地区のＧＨ協議会，その他の研修等にて，同業者との交流を行ない，サービスの向上につなげている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホーム見学をしてもらったり，事前面談で生活状態を把握するように努め，話し合いを行い，安心の確保につなげるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談の段階で，ご家族の思いや，状況を受け止めるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の要望を聞き，「その時」必要と思われるサービスの対応を行なっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が望まれるホームでの役割を支援し，それに対する感謝の言葉を発し，他の入居者との関係も，うまく行くように支援している。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者の日々の様子や職員の思いを細かく伝えることで，ご家族との絆をより深いものに支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の催物に参加した際，馴染みの方々との交流が行え，面会に来られたりと，関係が途切れない様な支援を行っている。	地域の催し物の夏祭りや星空コンサートには招待があり、運動会には席も準備されるなど地域と係わり、文化祭には手作り味噌を販売し、利用者も手伝いに行っている。知人がデイサービスの帰りに寄ったり、墓参りに家族と出かけるなど馴染みの人や場との関係が保たれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士，気の合う人同士で過ごせる様にホールに椅子を置いている。毎日ホールで行なうレクやゲーム等でお互いの名前を呼び合える支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他の施設に移られても，お見舞いや面会に行き，家族との相談を受けたりして，関係性の継続を行っている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で，入居者の思いや希望を聞き，連絡帳等に記載し，全員で共有できるようにしている。	日常の会話の中で利用者の希望や意向を把握し、利用者の思いを連絡帳にまとめ、職員は情報の共有を図っている。現状では意志疎通がとれる利用者だけに傾聴する姿勢を重視し本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や入居者自身の語り，ご家族，知人の来訪時で聞くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者一人ひとりの生活リズム，心身状態を職員全員が把握し，それにより対応している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	思いや意向は，ご本人との関わりの中で把握し，ご家族からは，来訪時等で聞き，受診や往診時，医師との連携にて意見を聞き，現状に即した介護計画を作成し，3ヶ月ごとに全職員でモニタリングを行っている。	その人らしく暮らし続けるための介護計画は利用者、家族、職員などや主治医の意見を踏まえて作成され、家族支援や嗜好も取り入れている。定期的な介護計画は勿論、家族の要望や変化が生じた場合は現状に即した介護計画の見直しがなされている。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルにケアの実践，結果，バイタルや心身の状況，気付き，言動などを記録し，職員間の情報共有や介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通常の日常生活にとらわれることなく，ご本人や家族の状況によるニーズに随時対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との関わりがなくならない様に自治会長の来所による，自治会費の支払いや遺族会費等の集金があり，地域の一員としてのつながりを維持している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時の主治医により，適切な医療が受けられる様に支援し，定期受診，往診など情報交換など行い，必要に応じ，他科への紹介などにより，医療が受けられるように支援している。	入所前からのかかりつけ医であり、緊急時は母体の医療法人や協力医療機関で対応している、歯科などの往診や認知症の専門医もある。受診後の家族との情報を共有し、ヒヤリハットも詳細であり、大きな事故に繋がらないように支援している。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員に看護師がおり，日常の中で入居者の健康状態などの相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時にはご本人の情報提供を行い，職員が頻回に見舞うようにし，病院関係者やご家族と情報交換を行い，回復状況により，早期退院支援を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時，長期医療が必要になられた場合，退去となる旨の説明を行い，納得してもらい，契約している。終末ケアや医療行為は出来ない事も説明し，状態変化に応じ，主治医やご家族と話し合い，方針を共有している。	終末期に向けたケアの方針は医療行為の出来ない事を入所時に家族へ伝え文章化している。入居継続は一ヶ月の期間を設け主治医や家族との話し合いで決められ、全職員は情報の共有を図り家族と利用者の安心と納得がいく支援となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時，事故発生時の対応の仕方など園内研修で学び，目に付くところに貼紙し，常時見れる様にしている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防署立ち会いで法人合同訓練や年2回独自での夜間火災通報訓練を実施し，地域住民の協力を得ている。原子力による避難訓練も市や県との協力体制や避難計画書の作成も行っている。	消防署立会いの災害対策は、法人合同と独自の夜間訓練を行っている。原子力災害も考慮した避難訓練もあり市町村や地域住民の協力体制も築き、避難経路や避難場所も確保されている。備蓄の他、一人ひとりの衣類なども準備され、スムーズな行動に結びつく夜間センサーも設置されている。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入る際の声かけや承認，入浴時，排泄時羞恥心に配慮したケアを行い，人格の尊重，プライバシー保護への対応を行っている。	一人ひとりの人格を尊重することを大前提とし、名前の呼び名や居室のノック、失禁時など細心の注意をはらうための研修会も重ねている。利用者の個人情報も管理者で守られ、プライバシーの確保と利用者の尊厳と権利が確保されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりに合わせた声かけを行い，ご本人の思いを傾聴し，出来る限り希望に添うように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は基本的な一日の流れに沿って動いているが，一人ひとりのペースを大切にその人らしく過ごせる様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	一人ひとりの生活習慣に合わせ，日常的におしゃれを楽しんでもらえる様に支援している。髪も好みに合わされている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みに合わせながら，季節食材を献立の中に入れている。食材の下ごしらえ，お絞り配り，たたみ下膳など入居者の力に合わせて手伝われている。	調理専門の職員を置き、嗜好を考慮した食事は、きざみ食も本人に献立を見てもらってからカットする配慮がある。外食も多く、花見は弁当持参で、また年一回は仕出しを取り全員で食を楽しみ、手伝いも利用者の力量に合わせ準備や片付けをしている。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに気をつけて，調理を行ない，摂取量や水分量を記録し，日々の変化に注意し，支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯みがき，口腔ケアは一人ひとりの力量に合わせ，声かけや支援を行っている。口腔ケア，義歯調整等で歯科の往診がある。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し，声かけ誘導を行ない，トイレでの排泄援助を行なっている。リハビリパンツから布パンツへの移向も行なっている。	各居室にトイレは有り、介護記録表で排泄パターンのチェックと定期的な声かけを行っている。夜間もセンサーで駆けつけスムーズな排泄に繋がるように個別の対応であり、布パンツに移行した利用者もいる。自立に向けた支援となっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝，白湯飲水，繊維の多い食材等の利用やリハビリ体操，ゲームなど行ないながら排便を促し，排便チェックを行ない，便秘予防を行っている。Ｄｒの指示で便薬の処方のある入居者もいる。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は日曜日以外は予定してあり，週3回入浴可能となる様にしている。その人の体調気分に合わせ，柔軟に対応している。	本日の入浴予定者名の書かれた紙が貼ってあるが本人の希望と体調に合わせている。足浴のときは軽くマッサージもあり、シャンプーも好みの物を使い、入浴剤を使ったり入浴を楽しむ支援となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し，生活リズムを整え，安眠出来るように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬防止の為，服薬準備や服用時職員入居者で確認，個人のファイルに処方箋を整理し，薬の目的，副作用などが理解できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で，その人の能力に合った役割をしてもらい，張り合いのある生き方の支援と感謝，ねぎらいの言葉をかけを行っている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の催物参加や，園の行事での外出，ご本人の希望，ご家族の希望での外出や外泊も自由にしてもらっている。	入浴の無い日曜日は本人の希望する衣類や食料品の買物日と決め一緒に外出したり、気候の良い日は散歩、家族との外食や外泊、地域のイベントや事業所の行事などに出かけている。一人ひとりの希望に添って戸外に出かけられる支援となっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の協力を得て，自分でお金を所持し，園内外で自由に買物が出来るように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族からの電話の支援や，本人からの希望での支援を常時行なっている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには個々人の椅子を置き，居場所作りを行ない，食堂からは四季折々の田園風影が眺められ，季節感を感じてもらえる様に工夫している。	明るいリビングからは稲作風景が眺められ、落ち着く畳の間もある。大型テレビの前には利用者が座る一人ひとり用の椅子を置き歓談できるように配置されいる。壁には利用者の行事やイベントに参加した写真が飾られ、季節感を得られる居心地のよい共有空間となっている。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間であるホールや食堂に椅子を置き，何時でも好きな時間にテレビを見たり，気の合う人同士で話したり，畳部屋で腰かけたり自由に生活できる様に工夫している。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で大切にされていた物や好みのものを自由に持ち込んでもらい，必要以外は手を出さず，本人が居心地よく過ごせる様に支援している。	居室のなかに出入りのし易いカーテン付きトイレや洗面台も設置され本人の目線に合わせて時計が掛けられている。テレビや遺影、家族写真を持ち込みベッドやタンスは本人の使いやすいように配置され、居心地よく過ごせる配慮がみられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体機能に合わせ，手摺，浴室，トイレ，ベット位置など安全に過ごせ，少しでも自立した生活が出来るように工夫し，支援している。		

Ⅴ　アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：23,24,25）	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：18,38）	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：38）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 （参考項目：36,37）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 （参考項目：49）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：30,31）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 （参考項目：28）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 （参考項目：9,10,19）	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：9,10,19）	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に１回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，活き活きと働けている。 （参考項目：11,12）	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない